

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 愛知県立豊橋聾学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒 441-8141
愛知県豊橋市草間町字平東 100 番地

E-mail soumu@toyohashi-sd.aichi.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 36 名 女子 30 名 合計 66 名
 児童・生徒の年齢 3 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 地域との交流 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

① 国際理解

国際理解交流を総合的な学習の時間や外国語活動、英語などで計画的に取り入れている。

今年度は豊橋市国際交流員の方を講師に招き、小学部（6年生）、中学部、高等部それぞれにおいて、オーストラリアの文化、動植物、地理などのお話をうかがった。児童生徒たちは積極的に質問するなど、オーストラリアに興味をもった様子であった。

部ごとの取組としては、小学部5年生は、オーストラリアで日本語を学んでいる小学生と、インターネットを利用した交流を行った。中学部では、市内在住のソロモン諸島出身の方を招き、ソロモン諸島の生活や文化、習慣について話をうかがった。また、本校英語教員の外国の友達との交流の経験や英語を学習してよかったことなどの話をうかがい、英語学習のモチベーションを高めた。高等部では、イギリス出身の方、ガーナ出身の方を招き、それぞれの国の様子についての話をうかがった。

児童生徒たちは、様々な国の様子を聞くことで日本以外の国にも興味を示し、多文化理解や英語学習への意欲につながっている。

②環境教育

本校の恵まれた自然環境を利用して、自然と触れ合ったり、自然のよさを実感したりするなど、様々な活動に取り組んでいる。そこから発達段階に応じて視野を広げ校外の環境にも目を向け、環境に対する意識を深めている。

中学部では、年度初めの総合的な学習の時間に、環境について考える機会を設けた。その中では、ゴミ拾いや節電、リサイクルなど、自分たちができることをいくつか挙げることができた。そこから、校外学習でゴミ拾いをしたり、夏休みに学校周辺の清掃活動を行ったりした。初めは教師の言葉掛けで行っていたが、徐々に生徒たちから進んでやろうとする姿が見られた。

学校全体としては、昨年度に引き続き、各部の実態に応じてペットボトルキャップやジュースなどの紙容器の回収などに取り組んだ。また、行事の前には校内美化活動を行い、ボランティア活動に対する意識も高めている。

③地域との交流

経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、地域との交流を積極的に進めている。

本校幼児児童生徒は愛知県東部地区の広範囲から通学しているため、学校のある地域の保育園や小学校、中学校との交流及び共同学習の他に、希望者を対象に居住地域の保育園や学校における交流及び共同学習も行い、相互理解を深めている。

また、市で行われるイベント等に参加する機会も多くもっている。小学部では市のイベントで和太鼓の発表をした。一般の方に聾学校の様子を知っていただくきっかけになっている。中学部では、市のお祭りでゲームコーナーを企画し運営した。自分たちで内容や方法を考え、社会の様々な人との関わり方について学ぶ機会となった。また、市内中学校総合体育大会（陸上、卓球）に参加し、技術を競っている。同世代の生徒たちと関わる貴重な機会となっている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）